

第1回部会の振り返り ・ 協議事項

千代田区基本構想懇談会 第2回全体会 資料

令和4年8月29日

目次

1. 報告

・第1回部会の振り返り

- (1)千代田区の良いところ・好きなところについて P2
- (2)めざすべき将来像について P6
- (3)分野別の将来像について P10

・ヒアリング結果等について

- (4)ヒアリング結果等の共有 P14

2. 提言書について P16

3. 協議

- (1)めざすべき将来像について P18
- (2)分野別の将来像について P22
- (3)その他 P24

1. 報告

第1回部会の振り返り

(1)千代田区の良いところ・好きなところ

教育と文化部会

分野	良いところ・好きなところに関する意見	課題や懸念、その他中立的意見
子育て・教育	■ 待機児童が少ない。 ■ 教育に熱心で、公立小・中学校の教育レベルが高い。 ■ 教育機関や大きな大学病院が多数ある。	■ 人口増加に伴う、公立学校のキャパシティ不足。 ■ 教育の中で男女共生社会をどのように活かして、将来の人間像をどのように作っていくか。
文化	■ 洗練された美しいまち並みと昔ながらの雰囲気のみち並みの両方がある。 ■ 日本武道館などの全国トップの施設がある。	■ 様々な施設があるが、区の所有なのか、そうではないのか分かりにくい。 ■ 他区に比べて近代美術館など魅力の下がっている施設がある。
その他	■ 行政サービスが手厚い。 ■ 都心へのアクセスが良い。 ■ まちがすっきりしていて綺麗である。	■ 教育や文化というより経済のまちの印象がある。

福祉と保健部会

分野	良いところ・好きなところに関する意見
治安	■ 夜間に外出しても大丈夫なほど治安が良い。 ■ 高齢の家族が安心して生活できる。
教育・文化	■ 公立学校等の教育環境が充実している。 ■ 子ども達の教育や運動施設が充実している。 ■ 図書館にはビジネス書があるなど図書が充実している。 ■ 歴史的文化的な場所が多い。 ■ 美術館やイベントが充実している。
その他	■ 病院等の施設や公的サービスが充実し、医療従事者も多い。 ■ 交通アクセスが便利。 ■ 千代田区だからできること(皇居ボランティア等)があり、環境に恵まれている。 ■ まちが清潔。

くらしとまちづくり部会

分野

良いところ・好きなところに関する意見

行政・施策

- 財政基盤が安定している。
- 無料で定期健診等を受けられるなどサービスが手厚い。
- 給付金・児童手当など話題性のある施策を打ち出している。
- サブカルチャーを利用したまちおこしなど話題性がある。
- 比較的公立の小中学校の質が高い。

地勢・まち並み

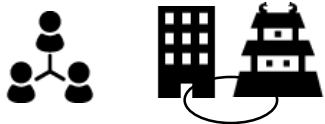
- 土日に車が少なく暮らしやすい。
- 東京駅付近は治安が良くて安心感がある。
- 道路が広く整備され、また、新幹線や飛行機も利用しやすく交通の利便性が高い。
- 坂が少なく平ら。
- たくさんの近代建築が保存されている。
- 江戸城内に住んでいるという感覚があってよい。

1. 報告

第1回部会の振り返り

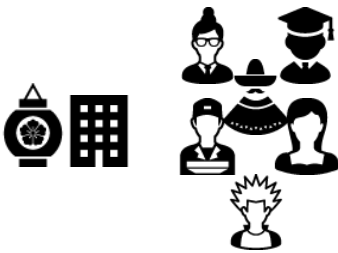
(2)めざすべき将来像について

教育と文化部会

キーワード	意見
伝統・文化・価値観 	■ 人によって「守るべき伝統」で思い浮かぶものが異なるので、認識をすり合わせて具体化することで、その先の将来の姿もよりイメージしやすくなると思う。 ■ 町会で担ぐ神輿、神田まつりなどの祭り。 ■ 文人通りは文人の旧居跡を紹介する看板が整備されている。 ■ 出版・印刷文化があり、本が強みであるなら、行政としてどのように支えていくかが大事。 ■ 民間事業者にも史跡等を残していくよう行政の立場から指導してほしい。
千代田区の魅力 	■ 千代田区の人材は、再開発よりもまち並みを変えずに残していきたい人が多いと想像していた。 ■ 千代田区にある江戸城や邸宅跡等の名所を広めると良い。
人・調和 	■ 京都を見習って歴史と現代感の融合をめざす。 ■ 外観で分かりやすい伝統を維持しつつ、最先端技術を取り入れ、地域のつながりを深めていくと良い。 ■ 地域のつながりや人間味があることを守りながら、発展していったほしい。 ■ 地域のおじさんおばさんたちが一生懸命お世話をしてくれると盛り上がってくる。 ■ 再開発をきっかけに元々の地権者が引っ越すことになれば、地域のつながりが弱くなるのが懸念される。
その他	■ 具体的なイメージが湧かない。 ■ 白百合学園、暁星、九段中等教育学校があるエリアは独特な雰囲気面白いと感じている。

※赤字は修正の方向性など、「めざすべき将来像」への直接的な意見

福祉と保健部会

キーワード	意見
伝統・文化・価値観 	■ 伝統というと保守的なイメージが強い。伝統に加えてこれからの世代と何かを作り上げていく旨の記載がほしい。 ■ 江戸時代から蓄積してきた文化などは、千代田区特有の魅力である。そういった魅力は明確に強みとして記載した方が良い。 ■ 常に新しいものが生み出され、それが伝統として受け継がれてきた場所という認識があっても良い。
人・調和 	■ 地域住民と大学との連携をより推進することで、学び集う機会や学生との交流にもつながる。 ■ 学生や新社会人と交流など世代間交流ができる場所があると良い。 ■ 昼間人口と夜間人口の人口差が大きいので、そのつながりがあると良い。
彩(多様性) 	■ オフィス街が多く人が住まない閉鎖的な印象があるため、開かれたイメージを盛り込む必要がある。 ■ 質の高い様々なまちの要素が既に備わっている。将来に向けての魅力を既にある魅力からもっと引き出せると良い。 ■ 千代田区には個性的なまち並みが揃っており、統一感がない印象を受ける。そのような区の特徴は、在住者には魅力だが、外部には千代田区の魅力として見えにくい。 ■ 千代田区は、既に多様なまちが混在している。皇居などの伝統だけでなく、秋葉原のような他のまち並みをイメージできるようなフレーズを入れた方がより魅力的なまちに発展していくことを伝えられるのではないかと。
その他	■ 「千代田区は、約400年にわたり、政治・経済・文化の中心として歴史を刻んできました。」とあるが、千代田区自体は400年前から存在していたわけでないので現実には則した記載にした方がよい。 ■ 注視すべき内容、将来こうしたいという内容をはっきりさせた方がよい。 ■ 千代田区には、区民以外にも、様々な人が活動しているため、その点を基本構想にどのように反映させていくのか検討する必要がある。

※赤字は修正の方向性など、「めざすべき将来像」への直接的な意見

くらしとまちづくり部会

キーワード	意見
伝統・文化・価値観 	■ 「伝統とモダンがとけ合う」という表現は気に入っている。「伝統とモダンが調和する」という表現にするのも良い。 ■ 「伝統とビジネス」という表現を使うと差別化でき、千代田区らしい表現になると思う。 ■ 一方で、ビジネスというよりは、条例にもあるとおり、文化や教育についての印象も強い。 ■ 皇居の存在で江戸時代の伝統のイメージはあるが、上野エリアと比較すると弱い。もっと歴史や伝統を強調してほしい
彩(多様性) 	■ 「働き、学び、集う」とあるが、千代田区は国籍・性別・障害など多様性にあふれていると思う。もっと具体的に記載したほうが良いのではないかな。
千代田区の将来 	■ 千代田区は既に躍進しているので「躍進し続ける」とした方が、希望があって良い。 ■ 他の市町村と比べ、ある意味ゴールに近いのは千代田区であり、「もう少しでそのゴールに手が届く、理想ではなく実現できる。」ということを表現したい。
その他	■ 基本構想に期限はあった方がよく、その期限によって記載内容もかわってくるのではないかな。 ■ 構想の内容が抽象的で、なにをしていくのかわからない。 ■ 安全安心に生活できるなど、長期的に住み続けられるという持続可能性についても触れた方が良いのではないかな。 ■ 説明文がなければ「千代田」だと分らない。 ■ 千代田区は大企業が集積し、歴史もあるなど理想的な都市である。「日本を牽引していく」「日本のモデルケースをめざす」「NO1、模範的である」という思いを描いてはどうか。

※赤字は修正の方向性など、「めざすべき将来像」への直接的な意見

1. 報告

第1回部会の振り返り

(3)分野別の将来像について

教育と文化部会

分野別の将来像：自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

【意見】

○ 社会包摂・多様性

- ・「誰一人取り残されることなく」の部分は重要。
- ・子どもや高齢者は行政サービスのニーズが高く行政の目も行き届きやすいと思うが、千代田区は単身世帯が最も多く、単身者のニーズもあると思う。単身者が地域の活動に関わることで、結果的に子どもや高齢者に良い影響を及ぼすことができる。

○ 子育て・教育

- ・千代田区は企業が多いので、企業、国、教育の場が連携することで、子どものうちに社会で必要なことを学ぶことができるという千代田区ならではの取り組みができると思う。
- ・海外の小・中学校のつながりなど、国際的なつながりを築く機会を与えることが大切だと思う。
- ・子どもの安全は、登下校の見守り、交通安全や災害時における対応など幅広く考えていくことが大事である。

分野別の将来像：集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

【意見】

○ コミュニティ

- ・パパ友ママ友のつながりは強い一方、単身者や子供がいない夫婦との付き合いはほとんどない。
- ・区がフォーマルな交流の場を提供するのではなく、自然体で、興味関心を通じてつながるコミュニケーションの場を増やしていけると良い。

福祉と保健部会

分野別の将来像：自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

【意見】

○ 健康・医療

- ・ 高齢者に重きが置かれているが、外国人のことが想定されていない。外国人のことも想定すると開かれた区政であるとアピールできるのではないかな。
- ・ 健康とあるが、身体的な健康だけでなく「精神」の健康の要素も盛り込んでほしい。
- ・ 構想は抽象的な内容になるかと思うが、次の具体的な計画につなげていくにあたり、どういう意図で一つ一つの言葉を使用しているのかを意識していく必要がある。例えば、「健やか」「健康」という言葉は、WHOで「身体・精神・社会的にバランスが取れている状態」と定義されている。行政の計画として、そのような言葉の定義とも連動しながら検討を進めた方が良い。

○ 社会包摂・多様性

- ・ 「○多様なライフスタイル～」と「○すべての子どもたちの～」については、子育てと子ども時代のことは詳細に記載されている一方で、それ以外のライフステージが記載されていない。どんな人、どんなライフステージであったとしても、孤立せずに繋がりを持てることが重要である。「集い」の意味を幅広く捉えた方が良いと思う。また、中にはゆるやかに繋がりたい人もいるため、繋がり方についても幅を持たせた方がよい。
- ・ 多様性が認識・尊重される必要がある。その先には、自分らしく生きることができる社会の実現があると思う。

○ その他

- ・ もう少し内容に具体性を持たせた方がよい。
- ・ 物理的にも身体的にも平和を保てるような内容にしてほしい。
- ・ 「普遍的な幸せ」とあるが、人によって普遍的な幸せは異なるため、記載内容を変更した方が良い。
- ・ 将来像を掲げるにあたっては、「自分らしく」という言葉はキーワードになっていると思う。

※赤字は修正の方向性など、「分野別の将来像」への直接的な意見

くらしとまちづくり部会

分野別の将来像：自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

【意見】

○ 子育て

- ・ 計画的に安心して子育てできるという表現があってもいいのではないか。あまり子育てについて明確に触れていない気がする。

分野別の将来像：集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

【意見】

○ コミュニティ

- ・ 千代田区は地方に比べて排他的な風土がある。昔から住んでいる人々と新しく移住してきた人々がうまく交流できるようになると良い。

分野別の将来像：やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

【意見】

○ やすらぎ・緑化

- ・ 「やすらぎ」にはいろいろな意味が含まれているようだが、例えば「自然環境」のように、もっとストレートに伝わるような表現にしてはどうか。
- ・ 千代田区には皇居があるため緑が多いという印象を抱くが、神田地区や秋葉原など自然があふれているとは言えない。
- ・ バランスよく公園を設置したり、民間企業と協力して緑化に努める必要がある。
- ・ 身近な緑は必要だと思う。再開発したエリアは緑が多く配置されていて良い。

○ 移動交通

- ・ コミュニティバスやレンタサイクルなど、交通に関しても触れてほしい。
- ・ 移動とバリアフリーなど区民が移動に困らないようにするニュアンスがほしい。

○ 防犯・防災

- ・ 神田や秋葉原は古いビルが多く、ビル間が狭いため、火災が起こった際に被害が甚大になる可能性がある。
- ・ 帰宅困難者の問題では、区内には広い校庭など大きな避難所がない気がする。

○ その他

- ・ 構想に個別具体的内容を書くことが無理なのであれば、このフレーズでいい気がする。
- ・ めざすべき将来像にある「伝統」に関する表現が、分野別の将来像においては抜け落ちている。
- ・ 分野別の将来像の3つの区分が分かりにくい。重なり合っている部分も多いように感じる。

1. 報告

(4)ヒアリング結果等について

ヒアリング等の概要及び結果

	団体関係者 ヒアリング	意見公募	職員アンケート
対象者・対象団体	区内で活動している団体関係者等	・区内在住・在勤・在学者 ・区内に事務所・事業所を有する個人 ・その他計画等に利害関係を有する方	区職員
対象数	26団体	—	約1,100名
実施期間	令和4年7月26日(火) ～9月7日(水)	令和4年7月20日(水) ～8月19日(金)	令和4年8月17日(水) ～8月26日(金)
意見聴取の方法	ヒアリング (一部アンケート形式)	パブリックコメント形式に準ずる	アンケート形式
結果報告書	別紙1のとおり	別紙2のとおり	別紙3のとおり

令和4年8月29日現在

2. 提言書について

提言書

懇談会での協議していただいた内容につきましては、「提言書」としてその内容をまとめ、区に提出します。区は提言書の内容等を踏まえ、基本構想の修正や、今後の施策の検討を行います。

提言書に記載する事項は大きく、「**記載内容についての修正意見**」と「**今後の施策推進にあたっての留意点**」の2点になります。このことを踏まえて協議をお願いします。

提言書に記載する主な事項

記載内容についての修正意見

- 主に「めざすべき将来像」、「分野別の将来像」、「基本構想の実現に向けて」の部分について、取り入れるべき要素や表現方法の改善案といった意見をいただきます。

※「てにをは」の修正など、軽微なものは提言書には掲載せずに修正を行います。

(意見の例)

- ・ 千代田区は多様性にあふれていると思っており、「めざすべき将来像」に具体的に記載してもよいのではないか。
- ・ 健康分野について、「体」だけでなく「精神面」の健康にも考慮した記載内容にしてほしい。

今後の施策推進にあたっての留意点

- 区が今後基本構想に基づき施策を推進するにあたっての留意点について意見をいただきます。
- いただいた内容については、今後具体的な施策を検討する上で参考とさせていただくものです。
- 分野別の将来像ごとに意見をとりまとめていく予定です。

(意見の例)

- ・ 昔から住んでいる人々と新しく移住してきた人々がうまく交流できるようにしてほしい。
- ・ 子どもに対して、企業がたくさんある千代田区ならではの取り組みができるのではないか。

提言書構成案

1. 懇談会の概要

2. 提言内容

① めざすべき将来像について

- めざすべき将来像に対する意見
- 施策推進にあたっての留意事項

② 分野別の将来像について

□ 自分らしく健やかに暮らし、笑顔で成長しあえるまち

- 分野別の将来像に対する意見

➤ 施策推進にあたっての留意事項

□ 集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

□ やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

③ 基本構想の実現に向けて

※構成については、協議の内容を鑑み変更することがあります

3. 協議

(1)めざすべき将来像について

めざすべき将来像

各部会や団体ヒアリング、意見公募等の意見(P6～9,14,15)を踏まえ、「めざすべき将来像」の修正の方向性や違和感のある表現について協議をお願いします。

※本日協議した内容については、懇談会からの「提言書」としてまとめ、区に提出します。区は提言書の内容等を踏まえ、基本構想の修正を検討します。

※※他の参加者の意見を確認して、前回とご自身の意見が変わっても問題ありません。

伝統とモダンがとけあい、未来に躍進するまち～彩りあふれる、希望の都心～

千代田区は、約400年にわたり、政治・経済・文化の中心として歴史を刻んできました。私たちが受け継いできた伝統は、長い歴史の中で、それぞれの時代における人びとが新たな文化や価値観を取り入れ、発展してきたものであり、千代田区の魅力を高めてきました。

社会の変化が激しい時代にあっても、千代田区は、先人が築いてきた伝統を大切にしながら、新たな時代における文化や価値観とも調和をはかり、未来に向け力強く躍進していきます。そして、千代田に住み、働き、学び、集うすべての人びとが輝き、彩りあふれ、将来にわたって希望に満ちた魅力あふれるまちをめざします。

めざすべき将来像 (伝統とモダンがとけあい、未来に躍進するまち ～彩りあふれる、希望の都心～)

※本日協議した内容については、懇談会からの「提言書」としてまとめ、区に提出します。区は提言書の内容等を踏まえ、基本構想の修正を検討します。

※※他の委員の意見を確認して、前回とご自身の意見が変わっても問題ありません。

テーマ1:千代田区らしさを表現するためには

■主な視点

- ・千代田区は大企業が集積し、歴史もあるなど理想的な都市である。「日本を牽引していく」「日本のモデルケースをめざす」「NO1、模範的である」という思いを描いてはどうか。
- ・説明文がなければ「千代田」だと分らない。
- ・他の市町村と比べ、ある意味ゴールに近いのは千代田区であり、「もう少しでそのゴールに手が届く、理想ではなく実現できる。」ということを表現したい。
- ・江戸時代から蓄積してきた文化などは、千代田区特有の魅力である。そういった魅力は明確に強みとして記載した方が良い。
- ・質の高い様々なまちの要素が既に備わっている。将来に向けての魅力を既にある魅力からもっと引き出せると良い。
- ・千代田区は、既に多様なまちが混在している。皇居などの伝統だけでなく、秋葉原のような他のまち並みをイメージできるようなフレーズを入れた方がより魅力的なまちに発展していくことを伝えられるのではないか。

めざすべき将来像 (伝統とモダンがとけあい、未来に躍進するまち ～彩りあふれる、希望の都心～)

※本日協議した内容については、懇談会からの「提言書」としてまとめ、区に提出します。区は提言書の内容等を踏まえ、基本構想の修正を検討します。

※※他の委員の意見を確認して、前回とご自身の意見が変わっても問題ありません。

テーマ2:意見が分かれた内容について

「伝統とモダンがとけあい」

■主な視点

- ・「伝統とモダンがとけあう」という表現は気に入っている。
- ・人によって「守るべき伝統」で思い浮かぶものが異なるので、認識をすり合わせて具体化することで、その先の将来の姿もよりイメージしやすくなると思う。
- ・「伝統とビジネス」という、新宿区や渋谷区、台東区などと差別化もでき、一意に千代田区を特定できる。
- ・大企業が集積している千代田区だが、あまりビジネスを強調しない方がいいかもしれない。文化や教育に関する条例を定めているので、ビジネスというよりそちらの印象が強い。
- ・江戸時代から蓄積してきた文化などは、千代田区特有の魅力である。そういった魅力は明確に強みとして記載した方が良い。
- ・「伝統＝保守」のイメージが強い。新しいものが受け入れにくい印象があるため、もちろん伝統も必要だが、これからの世代と何をつくりあげていくのかを中心に構想を作成した方が良い。

3. 協議

(2) 分野別の将来像について

分野別の将来像

赤枠の解説文は、分野別の将来像に込めた想いや願いを表しています。

各部会や団体ヒアリング、意見公募等の意見(P10～15)を踏まえ、「分野別の将来像」の解説文について、修正の方向性や違和感のある表現などの協議をお願いします。

※本日協議した内容については、懇談会からの「提言書」としてまとめ、区に提出します。区は提言書の内容等を踏まえ、基本構想の修正を検討します。

※※他の委員の意見を確認して、前回とご自身の意見が変わっても問題ありません。

※※※「めざすべき姿」(分野別の将来像にぶら下がっている○(白丸)部分)は、今後の部会で協議していただく予定です。

自分らしく健やかに暮らし、
笑顔で成長しあえるまち

いつまでも元気で充実していること。
それはすべての「人」にとって普遍的な願いです。
その願いを叶えるため、子どもからお年寄りまで、共に支え合い、
自分らしく健康に、安心して生活を送れるまちをめざします。
また、生涯を通じて心豊かに学び、成長しあえるまちをめざします。

集い、つながり、
活気とにぎわいのあるまち

まちには「人」がいて、はじめて活気とにぎわいが生まれます。
活気とにぎわいで魅力あふれるまちには、人が集まります。
そこで育まれた人とのつながりを大切にし、支え合うことができるまちをめざします。
また、地域経済を活性化させ、誰もが豊かさを享受できるまちをめざします。

やすらぎを感じ、
安心して快適に暮らせるまち

良好な環境は、「人」の暮らしを豊かにし、
災害に強い安全なまちは、「人」の安心につながります。
また、暮らし続けたいと思える住環境は、人々の誇りとなります。
皇居を中心とした自然と近代的なまち並みをいかしながら、
誰もが安心して快適にすごせるまちをめざします。

3. 協議

(3) その他

- ア はじめに・区と基本構想の役割
- イ 基本構想の実現に向けて
- ウ 構造等について

はじめに

「はじめに」では、基本構想の導入として、基本構想策定の背景について、区を取り巻く課題や今後の方向性を踏まえながら述べています。他に取り入れた方がよい要素や、表現方法等について協議をお願いします。

千代田区は、約400年にわたり、政治・経済・文化の中心として歴史を刻み、発展してきました。

しかし、昭和30年代の日本の高度成長期から平成初頭のバブル経済の崩壊にかけて業務地化が進み定住人口が減少した結果、地域の活力低下や自治体の存続そのものが危ぶまれる状況に至りました。

こうした社会的背景のもと、昭和53年6月に区として初めて策定した基本構想と、平成4年6月に策定した新基本構想では、都市の魅力を高め、人口回復に向けた政策を展開してきました。平成12年の国勢調査では、45年ぶりに定住人口が増加に転じましたが、依然として千代田区に住み続けられ、住みたくなるまちをめざすことが最大の課題であるとの認識のもと、平成13年、定住人口5万人を目標とした第3次基本構想を策定しました。現在はこの目標を超え、当分の間、人口増加の傾向が続くことが見込まれています。

本区の人口が増加傾向にある一方、わが国の人口は減少傾向に転じ、経済など活力の低下が懸念されています。また、少子・高齢化の進展、首都直下地震、地球温暖化など、区民の命や暮らしに直結する様々なリスクが高まっています。

このような中、令和2年以来の新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、私たちは未曾有の危機に直面しました。暮らしに様々な制約を受け、不安と閉塞感に包まれる中、「命」の重さと人の「つながり」の大切さを改めて強く認識させられました。そして、日々刻々と移り変わるコロナ禍にあって、私たちが当たり前だと思っていた明るい暮らしを取り戻すため、変化に対応することでアフターコロナの暮らしをめざしてきました。

私たちは、こうしたコロナ禍の経験を踏まえ、これから先の変化が激しく、不確実な世の中にあっても、リスクや環境変化に的確に対応し、持続可能な地域社会を築いていきます。そして、人生100年時代を迎え、基礎的な地方公共団体として、区民の命や健康を守ることを第一に、「教育と文化のまち千代田区宣言」や「国際平和都市千代田区宣言」などを踏まえ、子ども、女性、高齢者、障害者など区民が輝けるまちを実現していきます。また、デジタル技術の活用やイノベーションを通じて、環境、文化、防災、エネルギーなど、様々な分野における課題の解決に努め、アフターコロナの暮らしに明るさと豊かさを実感できる千代田の新時代を築いていきます。

ここに、千代田の新時代における将来像を明らかにした基本構想を定め、区に関わるすべての人々とともに、将来像の実現に向けて取り組んでいきます。

区と基本構想の役割

「区と基本構想の役割」では、基礎自治体としての千代田区の役割や、現在策定している基本構想の役割を簡潔に説明しています。内容や表現方法について協議をお願いします。

(1) 住民に最も身近な基礎的な地方公共団体としての役割

地方公共団体は、憲法で定める地方自治の本旨に基づき、住民福祉の増進を図るために、地域における行政を自らの判断と責任において総合的に実施する役割を広く担う存在です。また、住民に最も身近な行政主体である千代田区は、東京都など、広域行政を担う地方公共団体と異なり、住民の暮らしに直接かかわる仕事を優先的に行っています。

これまで千代田区は、基礎的な地方公共団体として、自主的かつ自律的な自治体運営を進めてきました。今後も引き続き、安定的な財源の確保に取り組むとともに、自らの意思と責任で主体的に取り組める住民自治の確立をめざしていきます。

(2) 基本構想の役割

基本構想は、千代田区の将来像や分野別のあるべき姿を描き、その実現に向けて進むべき方向性を示すものです。

また、区の行政計画の最上位に位置づけられる理念であるとともに、行政運営の基本となる指針です。

さらに、区民や団体、企業など、千代田区にかかわるすべての人びとと共有し、一体となって実現するための指針としての役割を持つものです。

基本構想の実現に向けて

「基本構想の実現に向けて」では、基本構想の実現のために必要となる、基本となる区の姿勢や方向性を3つ示しています。
内容や表現方法について協議をお願いします。

(1) 変化の激しい時代への柔軟な対応

私たちは、変化が激しく将来の予測が難しい時代を迎えています。このような中で将来像を実現していくためには、機動的な区政運営が不可欠です。このため、効果的、効率的な行財政運営に努めるとともに、新たな技術や民間活力も積極的に活用しながら、様々な課題に柔軟に対応していきます。

(2) 多様性を尊重し認め合う社会づくり

将来像を実現し、豊かな地域社会を持続可能なものとするためには、多様な価値観や考え方を尊重し、互いに認め合うことが重要です。このため、多様性を包摂する社会づくりを推進します。

また、国際都市東京の中心である千代田区として、国や文化などの多様性を尊重し、人権や平和を守る取組みを進めていきます。

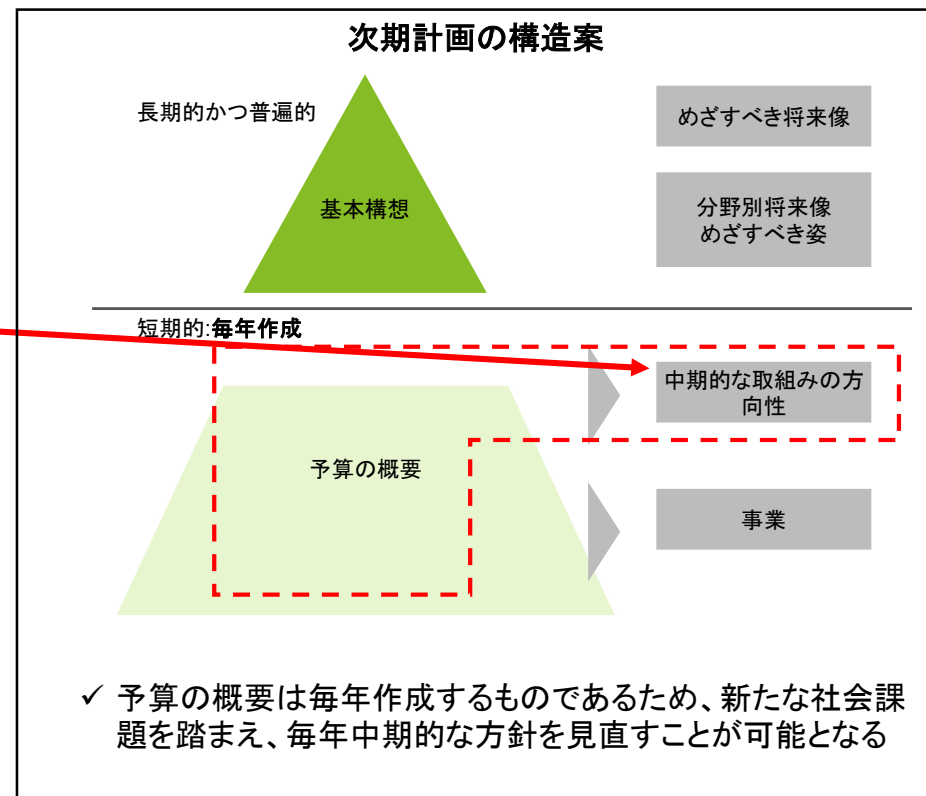
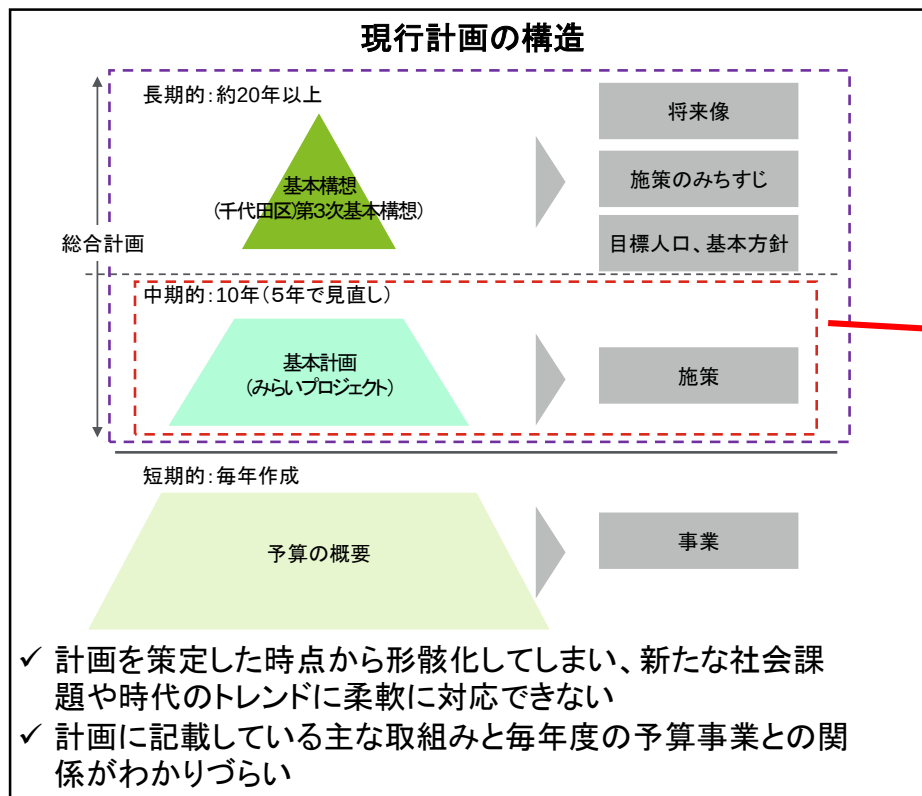
(3) 参画・協働の推進

区と区民が一丸となって将来像を実現していくため、区民に対する情報発信を適時適切に行い、区政への区民の主体的な参画を推進していきます。

また、区民、事業者、他自治体など、様々な主体との連携、協働を推進し、地域課題の解決や新たな活力の創出につなげていきます。

構造等

第1回全体会でご説明したとおり、基本構想は普遍的な内容とし、具体的な取組みは中期的な取組みの方向性ととも予算の概要で示します。なお、基本計画は作成せず、その要素を新たな基本構想や予算の概要に位置付けます。そうすることで、毎年新たな社会課題や時代のトレンドを考慮して中期的な方針を見直すことができ、柔軟な事業展開が可能となります。また、職員も社会の変化や区民ニーズに敏感になることが求められ、日々の業務の中での気付きが多くなることが期待されます。その他、期間の設定や指標の設定については以下のとおり整理しています。



(その他)

期間: 基本構想は長期的かつ普遍的なビジョンであるため、具体的な期間は設けない

指標: 基本構想は長期的かつ普遍的なビジョンであるため、定量的な評価を行うための指標は設けない。定量的な指標については、具体的な取組みを示す「予算の概要」や各部門で所管する「個別計画」の中で示し、進捗を管理していくことを検討している。